

## 小学校統合プラン説明会会議録

と き 平成23年8月1日午後7時30分～午後8時50分

ところ 成美地区公民館

出席者 地区民男性18人、女性11人 計29名

石前委員長・高塚委員・進委員・前畑委員・永田教育長・生田課長・藤村課長  
田中課長・浅田補佐・谷本補佐・高力係長・谷岡係長

開会 生田課長

あいさつ 石前委員長

統合プラン説明 永田教育長

資料により説明させていただき、皆様とともにこの問題を考えていきたいと思う。

別紙資料により説明。

財政推計について生田課長説明

## 質問・意見交換

○ 適正規模・配置審議会の答申が出たのは今年の3月ですが、それ以前、また以降にPTA等に相談したのかどうか。それと財政の話の資料がありませんので、添付してほしい。ほんとの当事者(安田、成美、以西)の話し合いはあったか。

○ 今日の説明会の位置付けはどうなっているか聞きたい。それから今日出た意見は、プランを修正したり見直したりすることはあるのか。

●説明会は、保護者・地域の皆さんに今こういうことが課題で、統合プランの理解・共有してもらいたいということで地区回りをしている。それを受けて、先ほどあった出た意見をどうするかを集約し、次の小学校単位の保・小学校の保護者対象の説明会を開催し、意見を聞いて詰めていきたい。

それと配置審議会のことですが、各小学校のPTA代表の方に審議会に出てもらって、その中でどうPTAに返され意見を聞くということは大変だと思う。保護者に十分浸透したかという、十分でなかった部分は多々あったと思う。答申というのは、広く意見を聞いて、それを踏まえ教育委員会で1年間協議し、3月にプランをまとめた。それをPTA会長に、最初に地区で説明し、併せて小学校の保護者に説明しますということの理解を得て進めてきた。また、もっと話し合おうということがあれば、出かけてきて煮詰めていきたいと思っている。

○ プランに対して住民の意見を聞く機会がもたれていない。これは住民の意見を聞かないプランになると思う。他町では、アンケートを取ったり、何回も説明会開催したり、パブリックコメント取って修正案を出している。それに比べここは1回も住民の声を聞かずにプランがつくられてしまった。教育長はこのプランは教育委員会で考えた完璧なものだ

と言われた。なぜ性急にこの問題をしようとするのか、もっと住民の中に投げ出して、住民の意見を拾ってからでも十分間に合うのでないかと思うが。その辺どうか。

● 教育委員会としては完全なものというのではなく、中途半端なものを出してもいけないということで、答申を受け、協議し一つのプランとして提案した。議論して修正するところがあれば、修正していけばいいと思う。その時にお互いが納得いく共通項を見出していく。確かに意見を聞かなければならない、何もない中で、どうですかといっても無理なので、プランとして提案した。子ども達の厳しい現状の中、子どもにとってどんな姿がいいのか。将来を見据えて私たちは何を考えるのかということなので、いろんな意見をお聞かせください。

○ 赤碓中学校区の場合は公民館、小学校、保育園が各地区の拠点となっている。そこで学校が減るということになれば、保育園、公民館がなくなるのではないか。地域住民との意見交換をしてやっていくことが必要ではないか。それと財政の資料は出ないか。

○ 財政的にはどうか。町の財政が厳しいので統合は仕方がないという町民の思いは強いと思う。

● (資料「これまでの流れ」より) 3つの提言の中に、行財政改革審議会から財政面からも喫緊の課題であり、その他は財政面ということではない。先ほどから、よく財政面ということがでてくるが、資料で示したとおり財政というのは論議の中に入っていない。住民の方は財政的なものも問題ではないかという質問もあるので、参考までに財政推計を説明した。意見や質問があれば答えるが、資料として出すと統合問題が財政ということに目がいってしまう。これまで説明したことを、出席された方に理解してもらいたい思いがあったので、財政の資料は出していない。

○ こういう統合プランというのは、当然財政的なものも入っていないといけないと思う。また地域では2年後には統合するとかいろんな話が出ている。

● これは財政的理由での統合ではないというのは先ほど説明したとおりです。しかし質問で財政的な事ということがあったので説明しました。資料的なものという地区の要望であれば資料として出すかどうか検討します。それと早急でないかということですが、平成20年に適正規模・配置審議会を設立し、メンバーには各PTAの方、地域の方で2年間の審議してもらい、これを1年間教育委員会で議論し、プランを提案しました。決定したというイメージを持たれたのであれば、表現に問題があったのかと思う。

○ それで財政的にはどうですか。

● 財政面では統合によって大きくどうのこうのということはない。小学校が多いから財政が苦しいと取られがちですが、現在小学校の建築等の借金が15億あり、年間1億3千万円返済している。なぜ1校にしないかという意見があった。1校ずつにすると400人、500人くらいの規模の学校となり、現在の校舎では入らないので、増改築か新たな校舎を建築する必要があり、そうなってくると財政問題が絡んでくる。

琴浦の小学校は古い八橋小や浦安小も耐震改修を含め大規模改修を行っており、まだ

まだ使えるという実態に立ったとき、今ある校舎を使いながら、ある程度の集団をもった統合ということを具体的な例を投げかけさせてもらっている。地域から学校がなくなるといのは本当に大きな問題で、それを説明会で皆さんの意見を聞きながら、子ども達にいい環境をつくっていききたい。

（「県内の他市町村学校統合の状況」を一覧表で説明。）子どもが少なくなると、より望ましい環境、活動の保証、互いに磨きあう生活を何とかしようという理由が多い。皆さんのいろんな意見を聞いて、将来どうするか、今どういう手を打つのか。皆で共に考えていきたい。

○ その表は確かにそのような状況だと思うが、まだ新しい校舎なのに統合の検討しているところはないと思う。琴浦町は校舎も新しく、古いものも耐震を含め大規模改造がされている。他町は、耐震改修や校舎の増改築の時に、そのような少子化のことも含め検討し、統合していると思う。

● 琴浦町は、建物の耐震化は終わっていて、子ども達に安全・安心な教育環境をつくってきた。しかし、今まで言ってきたような現状があるときに、どうするのかということで、一つの案として投げかけている。確かにさっきあったように、校舎をどうこうはない。それは旧町のそれぞれの歴史があるわけで、そこらあたりが他町と違うところだと思う。

○ 統合がいいのかどうかわからない。資料「子ども達の姿」のなかに切磋琢磨とあるが、そこは親や先生の協力・気持ちが大事だと思う。中学校と小学校に子どもがいるが、安心して子どもを預けられない。それはサラリーマン化した先生が多いように感じていて、もうちょっと熱があってもいいのかと思う。今日保護者の参加が少ないように感じる。関心があればもっと来るはずだ。そのあたりも不安である。

● 統合の不安というのはどこの地区からもあった。不安の解消は、準備委員会で教育委員会、学校、PTA等でいろんなことを出し合いながら、やっていかないといけない。当然環境が変わるとい不安は当然のことだし、そののところを大事にしながら、やっていかないと難しいのではないかと。確かに数人でも切磋琢磨はできると思うが、それでいいのかどうか。

○ 今まで正確な情報がなく混乱している。これまでの流れはわかるが、今後の予定として、いつまでにこういう課題をやるというような工程表があればわかりやすい。

財政の話は、資料によって説明していただいたほうがわかりやすい。例えばバス通学にした場合、今の便数をどうするとか、ある程度具体的なプランを出してもらえば参加する意味もあると感じた。

● あまり具体的に出しすぎると、なんだ、統合ありきかというようなこともあり、まず統合問題をどうやるのかその方向性を出しながら、次のプランを出していきたい。それから増便というような問題もまだ具体的には話し合っていないが、そういう方向性ということはある。こういうことも2年間の準備期間で、詰めていきたい。今後の予定としては、9月くらいから小学校単位で保、小学校の説明会をしていきたいと思っている。

- この問題の決定権は教育委員会、最終的には議会ということになると思うが、議会に出るまでの決定権を住民に渡してほしい。失礼な言い方になるが、教育委員会が信じられない。もう一度決定権を住民のほうに渡すシステムをつくる、そういうお願いをしたい。
- 9月以降に小学校単位で説明会とのことだが、その他、説明会をする予定はあるのか。
- 地区によっては1回でいいところや、いろいろあると思うので、要望があれば来ます。
- 決定までのスケジュールと方法が分からないので教えてほしい。

それと審議会の答申やこのプランが町報に載っていたが、あまり見ている人が少ないような感じだった。そのためPTAでこの問題に意識を向けてもらうという意味を含めアンケートした。多くの保護者を始め住民の方に説明会の参加を促し、議論や質問をする機会を設け、また出てきた意見を大事にしてほしい。

- 説明会を開催するに当たり、町報の折り込み、各区長に部落放送のお願い、子ども達に保護者宛通知、防災無線で放送といろんな方法では周知している。学校の統合再編問題は地域にとっても大きな問題であるのは間違いない。明治の初めよりその地域の中心となってきたのも事実である。しかしこういう子ども達の現実もある、これをどう考えていくかだと思う。皆さんの意見を聞きながら、望ましい子ども達の教育環境をどうつくり上げていくか、ということをご一緒に考えていきたい。

どうやって決めるのかということについては、皆さんの意見を聞きながら、教育委員会が決定していくが、設置条例は町長提案、議会議決が必要である。結論を出すまでには皆で意見を出し合い、そうだなという方向性を出すことが大事だと思う。

- このプランは決定ですか。
- 教育委員会は、子ども達の現実がある中、5年後、10年後こういう状態になって行くということを創造しながら、統合プランを皆さんに投げかけた。まだ合意をもらっているわけではありません。一つのものを変えようとすると大変なことなので、いろんな意見を聞いて進めていきたいと思う。
- 今後の課題のところを煮詰めてから、2年後ということではなく統合というものに向かってもらいたい。
- これは統合方向性が出てそれをより具体的に進めるためには、こういうこともありますということを課題としてあげている。
- 年を区切るのではなく、こういう課題を解決してから統合してくださいよということである。赤碓中学校区の場合は、公民館、小学校、保育園が一体となっていますので、その当たりのことも良く考えてほしい。
- 準備委員会をその地域につくってもらって、その中で課題等を練ってもらえたらと思っている。
- 中学校は1年の時に3クラスでしたが、2年になって2クラスになり、この前授業を見てびっくりした。授業になっていません。こういうことを考えると、小学校を統合して3クラスが1クラスになってうまくいくか不安です。

○ 統合するということは大変なことだと思う。資料によると以西小学校は30人くらいの学校で、逆に考えると、統合しないで20人、30人の学校、クラスは数人となり、これがこのままでいいのかどうか。

他町村を見習いなさいとはいいませんが、私の知識では、周りの町村は旧町1校ずつになっている。教育面でどうかということはありませんが、統合しているという事実。統合ということになればいろんな意見が出てくることは当然だと思うが、説明会等十分に行い進めてもらいたい。この前TCCを見ていたら、逢束保育園の問題を議会で議論されていたが、もう少しいい議論ができないものか。その地域、地域で話していても全体的な議論も必要でないか。ある程度リーダーシップをとって進めてもらいたい。

○ 小学校統合プランに、教育者である学校の先生の意見がどのように反映しているのか。少子化に対してどのような取り組みがなされてきたのか。

● 学校の先生方の意見は直接には聞いていません。以前審議会のときに、統合ということだけでなく、小規模校、大規模校での経験を聞いて、まとめた資料はある。

少子化問題は町あげていろいろやっている。例えば婚活とか、定住化の住宅や子育て支援の補助金等を行っているが、目に見える成果が上がっていないのが現実でないかと思う。現在ある企業に元気を出してもらおうようなことや、赤碕高校跡地に県立高等特別支援学校が新しくできる。これらが即少子化に、定住に結びつくかはなかなか厳しい現実がありますが、これからも町あげて取り組んでいかないといけないと思っている。

○ 行政は縦割りのなところがあるので、町として総合的なものを示してほしい。それと教育者の声を聞いてほしい、例えばこういう場での声でも。

**司会** 有難うございました。皆さんのたくさんの思いをいただき勉強になることが一杯です。今日いただいた意見を次のステップに活かしていきたいと思っています。本日は皆様ご苦勞様でした。これで閉会させていただきます。

午後9時20分閉会